

ゆるゆる通信 vol 45

こんにちは、柏崎ゆきこです。

「ゆるゆる通信」は、ゆっくりお話しできない北海道の皆さんに、もっと私のことを知っていただきたい、というワガママな思いから生まれたものです。そこから発展して今では、日々の生活の中で私が感動したことや、見つけたことなどを書きつづるものへと変わってきました。

今月号は、北海道の皆さんへの感謝をいっぱいこめた、感謝号です。

まず最初に、足かけ9年にもわたり、わたしの「ゆる体操教室」に通って来てくださった皆さまへ。

未熟でワガママな私の指導に長いことお付き合い下さって、誠にありがとうございました。皆さんが通って応援し続けてくださらなければ、これほどの長いあいだ、北海道へ通い続けることは出来ませんでした。

特に函館教室の皆さま、最初からのお付き合いに、感謝です。ゆる体操指導員になられた七里さん、函館教室を引き受けて下さった塩田さん。これからも函館の皆さんを、どうぞよろしくお願ひいたします。

函館道新文化センターの元館長・椿典子さま。

ゆる体操の資格をとったばかりの私を、快く受け入れて教室を開催させて下さったこと、ありがとうございました。道新文化センターを退職なさった今でも、大切な友人としてお付き合いできますこと、本当に感謝です。

札幌での出会いも幸せいっぱいでした。

まず、自然食品店「まほろば」の社長・宮下周平さま。

「まほろば」での教室の開催をご提案くださり、今月まで「女神のデコルテ」を開催させていただきまして、誠にありがとうございました。

教室を「ゆる体操」から「女神のデコルテ」に変更した時、参加者が一人もいない時期が半年くらいありました。使用料もお支払い出来なかったのに続けさせていただけしたこと、本当に感謝です。

その時間は私にとって「本当にしたいことは何か？」を問ひかけるために必要な時間でした。いま、その体験が私の心の支えとなっております。

また、「まほろば」のスタッフの皆さまとの交流も幸せなものでした。スケジュールを調整してくださったり、素晴らしいチラシを作ってくださった工藤さま。「まほろば」の会報と一緒に「ゆるゆる通信」を送ってくださった島田さま。その他、直接お話ししませんでした、いつ訪ねて行っても、にこ

にこと温かく迎えて下さいましたスタッフの皆さま、ありがとうございました。「まほろば」さんの、大きくて温かい懐の中で、活動させていただいたご恩は、決して忘れません。

また、去年「かみさまとのやくそく」を上映して下さった時に Shining-angel 主催の緒方紀子さんにお引き合わせ下さって、ありがとうございました。同志として、またお手本として見倣わせていただいています。

東川在住のミココロムスピ主宰の由美子さん、スピチュアル手相観のマリカさん。「女神塾」では、自分自身と向き合うことを教えてくださって、ありがとうございました。お二人との深いご縁に。感謝です。

そして「かみさまとのやくそく」自主上映実行委員会の皆さま、ありがとうございました！「女神塾」参加者と共に実行委員会を立ち上げて、去年の9月に自主上映会 & 「池川明先生講演会」を実行できましたこと、誠に感謝です。

それまで会ったこともない私たちの心を一つにまとめて、大成功に導いてくださったのは、札幌道新文化センター「大和撫子」教室に通って下さっていた、ジュンジュンさんでした。ジュンジュンさんの可憐な姿に、縁の下に徹して支える、力強い大和撫子の本質を見せていただきました。ありがとう！(o~)!

この9年間で改めて思い返してみますと、「こうしたい！」という衝動のままに活動してきた私ですが、それが出来たのは、その時々のご縁に恵まれ、そのご縁を頂いた方々に「支えられてきたから」だということがつくづく分かりました。

めぐり会って下さったすべての皆さま、本当に、ありがとうございました。限りある紙面のため、すべての皆さんをご紹介することは出来ませんが、「ゆるゆる通信」を書きながら、お一人お一人の顔を思い出し、感謝しています。

私は自分に自信を持てずに、これまで生きてきました。

「自信を持ちたい！」と切望しながら突き進んできたようにも感じます。でもこの頃は、「自信がなくてもよい」と思えるようになってきました。

自信があってもなくても、ただ目の前の道を一步一步進んで行くだけで良い、ということがわかったから。

目の前に伸びる道を一步一步進んで行ったら、またいつか、北海道の皆さまとお目にかかることもあるでしょう。その時まで、ごきげんよう、さようなら~ (*o~*)/

